

2) 第3期減災に係る取組方針の策定

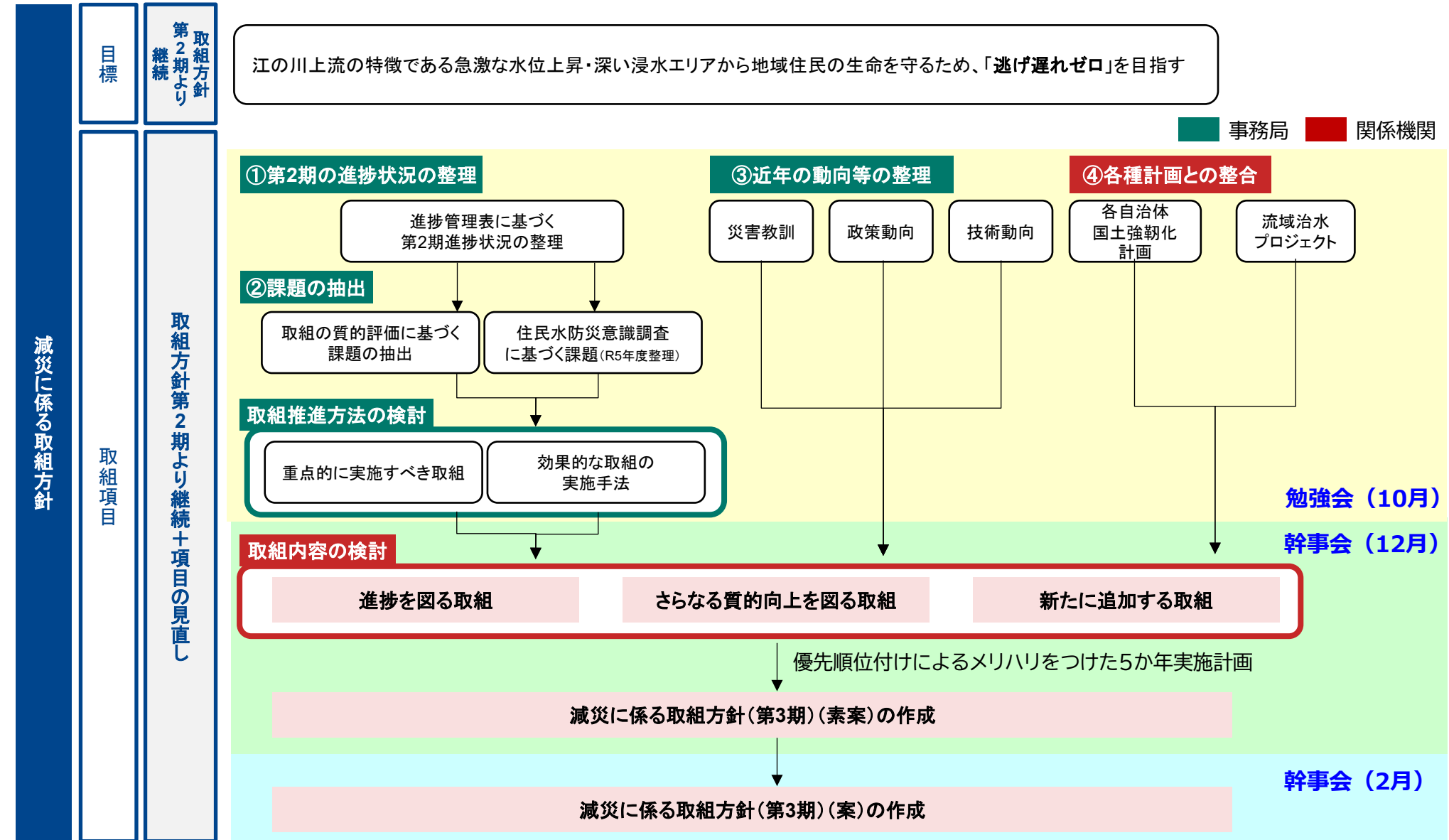
令和 8年 6月 3日

江の川上流大規模氾濫時の減災対策協議会

三次市・安芸高田市・広島県・広島地方気象台・中国地方整備局

第3期取組方針の策定に向けた検討の流れ

令和7年度は第3期取組方針の策定に向けて勉強会1回(10月)および幹事会2回(12月、2月)を通じて以下の流れで検討を実施した。



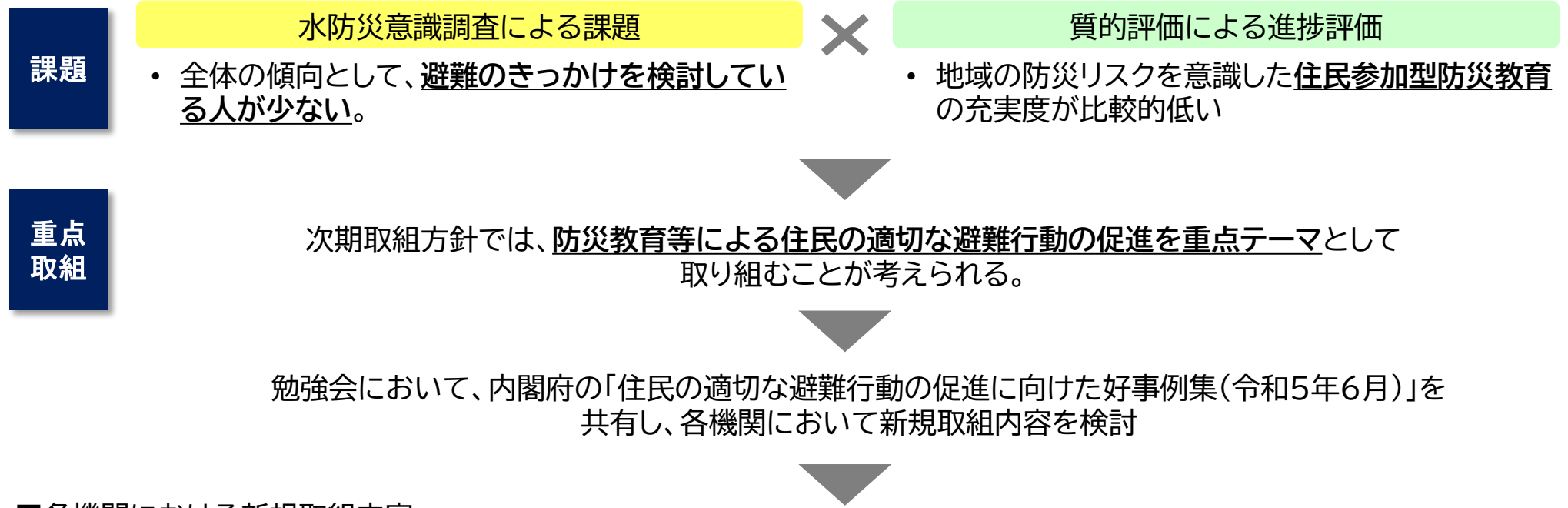
第3期減災に係る取組方針の改定概要

- 取組方針の改定概要を以下に示す。
- 取組方針(改定案)は参考資料として配布。

項目	改定概要
1. はじめに	・ 時点更新
2. 本協議会の構成員	・ 更新無し
3. 江の川上流域の概要と主な課題	・ 時点更新
4. 現状の取組状況	・ 時点更新
5. 減災のための目標	・ 更新無し
6. 概ね5年(令和12年度まで)で実施する取組	・ 各機関からの意見を踏まえ更新
7. 取組みにあたっての配慮事項	・ 時点更新
8. フォローアップ	・ 協議会開催時期の記載を「毎年年度末」から「毎年出水期前」に修正
9. その他	・ 流域水害対策協議会について追記

第2期の課題を踏まえた各機関における新規取組内容

- 第3期の取組へと繋げるため、**R5年度に実施した住民水防災意識調査を踏まえた課題**を整理した。
※R5年度住民水防災意識調査…江の川上流域の住民の水防災意識を把握し、減災対策の効果的な推進に活用することを目的として、令和5年8月上旬～10月下旬にWEBアンケートを実施。回答数は355名(三次市298名、安芸高田市57名)。
- 上記の結果及び**質的評価の結果**を踏まえ、**第2期の課題を整理した**。



■各機関における新規取組内容 赤文字:新規・拡充箇所

対象機関	取組項目名
・三次市 ・安芸高田市 ・ 气象台 ・ 中国地整	・ 住民一人一人の避難計画(マイ・タイムライン)の普及
・三次市 ・安芸高田市	・ 地域と連携した避難所の拡充
・三次市 ・安芸高田市	・ 各地域における避難の呼びかけ体制の構築

近年の動向等を踏まえた各機関における新規取組内容

- 近年発生した災害や技術動向等を踏まえ、新たに取組方針に追加する取組を各機関において検討した。

勉強会において、近年の災害を踏まえた取組や技術動向を共有



<出典:「社会資本整備審議会 第70回河川分科会」資料>

大雨により崩壊した道路(珠洲市)

出典:第5回 災害に強い首都「東京」の形成に向けた連絡会議
配付資料/国土交通省HP



出典:「能登半島での地震・大雨を踏まえた水害・土砂災害
対策のあり方について」提言/国土交通省HP



出典:岡山河川事務所HP

各機関において新規取組内容を検討

■各機関における新規取組内容 赤文字:新規・拡充箇所

機関名	取組項目名
・三次市 ・安芸高田市 ・ 気象台 ・ 中国地整	・ タイムラインや避難訓練と連携した水防訓練の実施
・協議会全体	・ 小中学校などと連携した江の川上流の洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の拡充 及び教材の作成

① 迫り来る危機に対応する的確な避難行動のための取組

主な取組項目		実施予定	取組機関
■大規模氾濫に対するタイムライン（防災計画）への更新			
・大規模氾濫及び内水・土砂災害などの複合災害や夜間・荒天時を考慮したタイムラインの更新	A, B	毎年出水期前	協議会全体
・住民が安全に避難するための避難指示等の発令基準の見直し・避難誘導体制の検討	C, D, E	毎年出水期前	三次市・安芸高田市・広島県
■大規模水害に対応するハザードマップの作成・周知			
・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図を考慮した避難所の検討（広域避難所）	G, H, I	随時	三次市・安芸高田市
・地域と連携した避難所の拡充	G, H, I	随時	三次市・安芸高田市
・内水氾濫・土砂災害を考慮した避難経路の検討	G, H, I	随時	三次市・安芸高田市
・洪水浸水想定区域内の要配慮者利用施設（社会福祉施設等）の管理者が策定する避難計画作成等の支援	L, M	随時	三次市・安芸高田市
・各地域における避難の呼びかけ体制の構築	L, M	随時	三次市・安芸高田市
・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップを作成し、洪水浸水想定区域内の各戸へ周知	F, G	随時	三次市・安芸高田市
■住民の避難行動を支援する防災情報の提供			
・関係機関による内水被害状況の共有	N	随時	三次市・安芸高田市・広島県・中国地整
・広域避難や水防活動等に資する長期水位予測（水害リスクライン）等の実施	B, N	随時	中国地整
・緊急速報メールを活用したプッシュ型の洪水情報等の発信	J, K	随時	中国地整
・気象情報発信時の「防災気象情報」の各種改善	A	随時	気象台
・避難情報伝達手段の普及促進	J, K	随時	三次市・安芸高田市
・SNSを活用した洪水時における情報提供等	A, B	随時	協議会全体
・ダムからの情報提供について、受け手の多様性に配慮した、平常時・洪水時の効率的な情報入手方法の周知手法の検討	a	随時	中国地整

③ 水防災と地域社会を意識した防災教育の取組

主な取組項目		実施予定	取組機関
■水防災を意識した防災教育の実施			
・過去の災害や他河川の事例を用いた防災講習会等の開催	F, T, U	随時	協議会全体
・タイムラインや避難訓練と連携した水防訓練の実施	V	随時	三次市・安芸高田市・気象台・中国地整
・地域住民・水防団との危険箇所や重要水防箇所の合同点検の実施	N, O, Q	毎年出水期前	三次市・安芸高田市・中国地整
・小中学校などと連携した江の川上流の洪水の特徴を踏まえた水害（防災）教育の拡充及び教材の作成	T, U	毎年	協議会全体
・地域のコミュニティを強化するための対話や協働の場の提供	c	随時	三次市・安芸高田市
■地域の防災リスクを意識した住民参加型防災教育の実施			
・住民一人一人の避難計画（マイ・タイムライン）の普及	T	毎年	三次市・安芸高田市・気象台・中国地整
・水害からの高齢者の避難行動の理解促進に向けた高齢者福祉部局との情報共有や避難訓練の実施	V	毎年	三次市・安芸高田市

④ 異常豪雨の頻発化に備えたダムの洪水調節機能と情報の充実

主な取組項目		実施予定	取組機関
■異常豪雨の頻発化に備えたダムの情報の充実			
・防災施設の機能に関する情報の充実	B	随時	三次市・安芸高田市・中国地整
・ダム放流情報を活用した避難体制の確立	B	随時	中国地整
■異常豪雨の頻発化に備えたダムの洪水調節機能の充実・強化			
・ダム等の洪水調節機能の向上・確保	Z	毎年	中国地整

⑤ 都市浸水想定区域における土地の利用の取組

主な取組項目		実施予定	取組機関
■都市浸水想定区域における土地の利用の取組			
・浸水被害防止区域の指定の検討	b	随時	三次市・安芸高田市・広島県

具体的な取組の柱				実施する機関				
事 項		実施予定	三次市	安芸 高田市	広島県	気象台	中国地整	
具体的取組								
■大規模水害に対応するハザードマップの作成・周知								
・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図を考慮した避難所の検討（広域避難所）	・国管理河川の想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公開・周知	G, H, I	随時				●	
	・広島県管理河川の想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公開・周知		随時		●			
	・土砂災害警戒区域等の公開・周知		随時		●			
	・避難所検討の事例提供・技術支援		随時		○		●	
	・洪水浸水想定区域内の要配慮者利用施設（社会福祉施設等）の抽出		毎年出水期前	●	●			
	・避難所等の検討（応急的な避難場所の検討）		毎年出水期前	●	●			
	・地域と連携した避難所の拡充	G, H, I	随時	●	●			
	・内水氾濫・土砂災害を考慮した避難経路の検討	G, H, I						
	・内水被害や地形データ等の資料提供		随時				●	
	・土砂災害警戒区域等の公開・周知		随時			●		
	・避難経路等の検討		毎年出水期前	●	●			
	・洪水浸水想定区域内の要配慮者利用施設（社会福祉施設等）の管理者が策定する避難計画作成等の支援	L, M						
	・気象情報の活用に係る技術支援		随時				●	
	・水害（土砂災害・内水含む）に係る技術支援		随時			○	●	
・策定全体に係る調整及び技術支援		随時	●	●				
・各地域における避難の呼びかけ体制の構築	L, M	随時	●	●				
・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップを作成し、洪水浸水想定区域内の各戸へ周知	F, G	随時	●	●				
■住民の避難行動を支援する防災情報の提供								
・関係機関による内水被害状況の共有	N	随時	●	●	●		●	
・広域避難や事前防水活動等に資する長期水位予測（水害リスクライン）等の実施	B, N	随時					●	
・緊急連絡メールを活用したプッシュ型の洪水情報等の発信プッシュ型の洪水情報等の情報発信	J, K	随時					●	
・防災気象情報の改善	A	随時				●		
・避難情報伝達手段の普及促進	J, K	随時	●	●				
・SNSを活用した洪水時における情報提供等	A, B	随時	●	●	●	●	●	
・ダムからの情報提供について、受け手の多様性に配慮した、平常時・洪水時の効率的な情報入手方法の周知手法の検討	a	随時					●	

具体的な取組の柱		実施予定		実施する機関				
事 項				三次市	安芸 高田市	広島県	気象台	中国地整
具体的取組								
③水防災と地域社会を意識した防災教育の取組								
■ 水防災を意識した防災教育の実施 ■ 地域の防災リスクを意識した住民参加型防災教育の実施								
・ 過去の災害や他河川の事例を用いた防災講習会等の開催		F, T, U						
・ 過去の災害や他河川の災害事例による広報資料作成			随時				○	●
・ 防災講習会の開催			随時	●	●	○	○	●
・ タイムラインや避難訓練と連携した水防訓練の実施		V						
・ 訓練事例及び訓練要領作成の技術支援			随時				○	●
・ 訓練実施			毎年出水期前	●	●		○	○
・ 地域住民・水防団との危険箇所や重要水防箇所の合同点検の実施		N, O, Q	毎年出水期前	○	○			●
・ 小中学校などと連携した江の川上流の洪水の特徴を踏まえた水害（防災）教育の拡充及び教材の作成		T, U						
・ 水害教育の実施			毎年	●	●	○	○	●
・ 教材の作成			随時	●	●	○	○	●
・ 地域のコミュニティを強化するための対話や協働の場の提供		c	随時	●	●			
■ 地域の防災リスクを意識した住民参加型防災教育の実施								
・ 住民一人一人の避難計画（マイ・タイムライン）の普及		T						
・ 事例収集及び技術支援			毎年				●	●
・ ワークショップの開催			毎年	●	●		●	●
・ 水害からの高齢者の避難行動の理解促進に向けた高齢者福祉部局との情報共有や避難訓練の実施		V						
・ 事例収集及び技術支援			毎年					●
・ 防災情報の共有			毎年	●	●			○
・ 避難訓練の実施			毎年	●	●			○
■④異常豪雨の頻発化に備えたダムの洪水調節機能と情報の充実・強化								
■ 異常豪雨の頻発化に備えたダムの情報の充実								
・ 防災施設の機能に関する情報の充実		B	随時	○	○			●
・ ダム放流情報を活用した避難体制の確立		B	随時	○	○			●
■ 異常豪雨の頻発化に備えたダムの洪水調節機能の充実								
・ ダム等の洪水調節機能の向上・確保		Z	毎年					●
■⑤都市浸水想定区域における土地の利用の取組								
■ 都市浸水想定区域における土地の利用の取組								
・ 浸水被害防止区域の指定の検討		b	随時	●	●	●		